

C.N. 40

大会記念誌

仙台五城ライオンズクラブ



2004年
10/24 日

於 仙台ホテル

ライオンズクラブ国際協会
332-C 地区第6R第1Z
仙台五城ライオンズクラブ



1. 仙台五城ライオンズクラブの名称と謂

※卷末に詳しく記載しています

仙台五城クラブ ‘04会長スローガン

『高らかな飛躍をめざして、We Serve』

結成年月日	1963年11月15日
スポンサー	仙台・仙台中央ライオンズクラブ
結成番号	No.0663
チャーターメンバー	46名
認証年月日	1964年10月9日
例会日時	毎月第2・第4水曜日 18:15~19:30
例会場	仙台ホテル
例会場住所	〒980-0021 仙台市青葉区中央一丁目10-25
例会場電話	(022) 225-5171
2004年10月現在会員数	34名
事務局住所	〒980-0811 仙台市青葉区一番町一丁目1-8 キタガワビル8階
事務局電話	(022) 262-6633
事務局FAX	(022) 262-6634
事務局員名	丹野文子



「五城」のいわれ

仙台城本丸のところは青葉が崎といつて、むかし土
仏千体を安置した虚空蔵堂があつたので千体城と称し、
のち千代城と改めたが、伊達政宗が慶長五（一六〇〇）
年一二月二四日築城の縄張りにあたり、これを仙台と
改め、城と城下市街の名とした。この地名は唐の韓翃
の左記の詩にあるところから仙台城に五城、城下市街
に五城楼下という雅名が生まれた。
(三原良吉氏による—「C.N.10周年誌」より転載)

同題仙遊観 同じく仙遊観に題す

仙臺初見五城樓	仙台	初めて見る	五城樓
風物淒淒宿雨收	風物	淒淒として	宿雨 収まる
山色遙連秦樹晚	山色	遙かに連なる	秦樹の晚
砧聲近報漢宮秋	砧声	近く報ず	漢宮の秋
疎松影落空壇淨	疎松	影落ちて	空壇淨く
細草春香小洞幽	細草	春香ぐわしくして	小洞幽かなり
何用別尋方外去	何ぞ用いん	別に方外を尋ねて去るを	
人間亦自有丹丘	人間	亦た自ら	丹丘 有り

クラブ名称については広瀬、萩、伊達などの案も出
されたが、仙台市内で五番目のクラブでもあり、仙台
の別名である「五城」という案が採択され「仙台五城」
と決まった。
クラブの名は、スポンサークラブである仙台中央L
Cの故三品正直しの発案である。(C.N.20に故L京道信
一が述べている。)

※故三原良吉氏（郷土歴史家・旧制一中・早稲田専門
部卒河北新報記者記者）



目 次

1. 仙台五城ライオンズクラブの名称と謂	1
2. 大会会長・実行委員長挨拶	3
3. 祝詞	4
(国際会長、地区ガバナー、リゾンチャーパーソン、 ゾーンチャーパーソン、仙台中央L.C.会長、新宿東L.C.会長) (プログラム)	
4. C N40記念式典	8
Document (写真)	
記念事業発表	
5. 祝宴	13
6. ゴルフ＆前夜祭	16
7. C N40記念事業 (Activity)	
その1 奨学金制度 (奨学資金)	18
元奨学生からのお礼と感謝のメッセージなど	
その2 宮城県・仙台市障害者スポーツ大会	27
その3 青葉山早朝清掃 (労力アクト)	30
その4 宮城県警「大学生健全育成ボランティア・ポラ里斯宮城」 ヘユニフォーム55着贈呈！	31
その5 N P O活動への参加	33
8. 仙台五城の5年間の歩み	34
歴代3役など	
9. チャーターメンバーの語る仙台五城 －L門馬賢造－	36
～インタビュー形式による～	
10. 仙台五城ライオンズクラブの謂れを追って	37
11. 大会参加者名簿	39
12. 編集後記	43



2. 大会会長・実行委員長挨拶



大会会長
L 渡邊 俊弥



大会実行委員長
L 田畠 英伍

仙台五城ライオンズクラブC N 40の開催にあたり、クラブを代表して、一言ご挨拶を申し上げます。本日は、ご多用にもかかわらず仙台五城ライオンズクラブC N 40周年記念式典にご出席賜り誠にありがとうございます。千葉俊一ガバナーをはじめ、キャビネット役員の皆様、姉妹友好・ブランザー・ライオネスの各クラブの多数の皆様のご臨席を賜り、かくも盛大な記念式典ならびに記念祝宴を開催できることは、偏にご臨席の皆様方の常日頃のご指導・ご鞭撻の賜物と挙げ、仙台五城ライオンズクラブ会員一同衷心より感謝を申し上げます。

1963年11月15日、仙台ライオンズクラブ・仙台中央ライオンズクラブのスポンサーにより結成された我が仙台五城ライオンズクラブは、翌64年10月9日、国際協会より認証を受け、以来40年、先輩ライオンの努力により実りある実績を築いてまいりました。この40年を振り返ってみると、決して順風満帆の時だけではありませんでしたが、どんなに困難なことでも、会員相互の協力と団結で乗り越えてきたことは、我がクラブの誇りでございます。しかし、何といっても奉仕活動の中で最も特筆すべきものはC N 20を記念して設立いたしました、仙台五城ライオンズクラブの奨学金制度でございます。現在までに、1,000万円以上の奨学金を支給し、約2,000万円の奨学金原資を有し、あわせて3,000万円以上の積み立てを続けてきました。さらに、この期間に地区ガバナーを2名輩出しております。これらは、我がクラブの大きな誇りでございます。また、330地区の東京新宿東クラブとの姉妹友好の絆も31年間続いております。さらに、宮城県身体障害者スポーツ大会（現ニュースポーツゲームズ）に1991年以来、14年間にわたって資金援助を行ってまいりました。その他青葉山の清掃奉仕等々、ライオニズム高揚のため、いろいろな活動を継続してまいりました。

長引く不況のなか、ライオンズクラブの活動を取り巻く環境は年々厳しくなってきております。会員の減少は、どのクラブにも共通の悩みであると思いますが、我がクラブはC N 40を期に、会員数の増強に成功しております。新しいライオンの参加は、我がクラブの今後の運営に大きな力となることを確信しております。新しい力を得て、我々仙台五城ライオンズクラブは、これまで以上に地域社会の共感と支援を得られるような奉仕活動を進めていく覚悟でございます。そのためには、会員相互の友愛と絆を深めることは勿論でございますが、本日ご臨席の皆様の更なるご指導・ご協力が不可欠でございます。何卒、今後とも仙台五城ライオンズクラブに対し、暖かいご支援をお願い申し上げる次第でございます。

最後となりましたが、本日ご臨席の皆様のご健康と益々のご発展・ご活躍をご祈念申し上げまして、御礼のご挨拶といたします。

仙台五城ライオンズクラブC N 40の開催にあたり、実行委員長として、一言歓迎のご挨拶を申し上げます。

本日は、ご多忙中にもかかわらず仙台五城ライオンズクラブ40周年記念式典および記念祝宴にご出席下さいまして誠にありがとうございます。実行委員会といたしましては、今回のC N 40は、キャビネット・スポンサークラブ・姉妹友好クラブ・ブランザークラブ・ライオネスクラブの皆様に祝福して頂ける内容にしたいと考えおりました。皆様方のご支援・ご協力を頂き、かくも盛大に挙行することができましたこと、誠に嬉しく存じます。

さて、我がクラブの結成の経緯や活動の状況は、会長挨拶の通りでございます。C N 40開催に向けて、7回の実行委員会を開きましたが、

“奉仕活動を通しての友愛と相互理解の精神を養う”という点において我々五城ライオンズクラブの心は一つであります。そして、このことをモットーに、今日まで準備をして参りました。議論を重ね、意見を闘わすこと幾たび、何としてもC N 40を成功させたいという一心からでした。時節柄、必要以上の経費をかけない、会員の真心のこもった手づくりの式典で、本日ご臨席の皆様をお迎えしたいと考えました。私共は皆様を心から歓迎しております。仙台五城L.C.各ライオンの真心はきっと皆様にご理解頂けると信じております。

決して順風満帆の時だけではありませんでしたが、40年間、私ども仙台五城L.C.は、会員の結束が揺らぐことなく活動を続けてくることができました。これも偏にスポンサー・姉妹友好・ブランザー・ライオネスの各クラブの皆様のご協力・ご支援の賜ものと感謝申し上げますと共に、今後ともさらなるご支援を賜りますようお願い申し上げる次第でございます。

犯罪の低年齢化や社会を震撼させる事件など、暗いニュースが多いこの頃でございます。我々はこれからも青少年の健全育成を主眼として奉仕活動を実践し、微力ではございますが、地域社会に貢献することをお誓い申し上げて、ご挨拶といたします。

本日は、ご臨席賜り誠にありがとうございます。



3. 祝 詞



国際協会会長
クレメント K. クジアク

この度、貴クラブが結成40周年をお迎えになりましたこと、心からお祝い申し上げます。

40周年記念は、クラブの過去を顧みると共に、将来に目を向ける適切な機会であります。結成以来、貴クラブの会員の皆さんのが力を合わせて奉仕に尽くして下さっているお陰で、地元地域社会そして世界中の恵まれない人々の暮らしが向上しております。貴クラブが献身的に質の高い奉仕を提供して下さっている故に、協会には今日の名声があるのであり、87年もの間協会は奉仕組織のリーダーとして活躍し続けることができたのです。

ライオンズの業績を祝うに際し、今後も奉仕事業の改善と拡張の機会を求めて、前進していくれますよう期待しております。皆さんが努力と意欲を注いで下さることで、奉仕を通して成功の分かち合いを祝うことができるのです。引き続き会員増加及び維持を奨励し、指導技能育成に力を入れて下さい。こうした段階を経てこそ、奉仕というライオンズの伝統を続けていく心構えのあるライオンとしての資質を備えたクラブ会員を確保していかれるのです。

重ねて、貴クラブの40周年記念のお祝いを申し上げます。



332-C地区ガバナー
L千葉 俊一

おめでとうございます。

仙台五城ライオンズクラブが結成以来、40周年を迎えること、心からお慶び申し上げます。

1963年（昭和38年）11月に結成され、翌、64年（昭和39年）十月認証されました。この年は、東京オリンピックが開催され、日本中が沸き立った年でもあります。そして、日本は高度経済成長の時代に進んで行くのですが、この時発足した五城ライオンズクラブは、時代の大きな動きの中で、どのような体験をされたでしょうか。日本の経済発展に相応した、クラブアクティビティが、活発に展開されたことと思います。

五城ライオンズクラブの、すばらしい歴史と伝統は、この間に寄せられたクラブ員各位の奉仕活動、即ち時間と労力と資力の積み重ねの上に創造されて来たものと信じます。40年間の日々と築いた努力の成果に対して、深甚なる敬意を表する次第であります。

さて、40周年で思うのですが、74歳まで生きた孔子が、晩年に語った『吾…四十にして惑わず』という言葉があります。皆さんは、惑うことなく会長を中心に一致団結して、次なる50周年を目指して世のため人のために邁進してください。

10年後は、50周年です。半世紀というすばらしい時代を迎えるのです。それまで、五城ライオンズクラブは、どんな歴史を積み重ね、刻んでいくのでしょうか。大きな期待をもって見守っていきたいと思います。

次なる50周年への飛躍と発展を心から祈念しまして、お祝いの言葉といたします。



祝 詞



332-C 地区 6 R
リゾンチャーパーソン
L三浦 成夫

仙台五城クラブのCN40、誠におめでとうございます。

私も仙台五城クラブに入会し、87~88年にクラブ幹事、97~98年にクラブ会長、さらにキャビネット副会計など地区役員も3度経験、この度リゾンチャーパーソンを拝命いたしました。332-C地区のため、第6Rのために奉仕活動を続けておるところでございます。

仙台五城クラブは、仙台の名門クラブである仙台ライオンズクラブと仙台中央ライオンズクラブの合同スポンサーによって、仙台で5番目のクラブとして1963年11月15日に結成され、翌年10月9日、認証されました。以来、長年第2R第1Zにおける中心的な役割を担ってきたクラブであります。地区ガバナーを2度も輩出して332-C地区をリードし、さらにクラブ会員の中から多くの地区役員を出し、奉仕活動に貢献してきたことは、誰もが認めるところであります。また、仙台五城クラブは注目に値する独創的なアクトがたくさんございます。その第一は、CN20を記念して創設された奨学金制度でしょう。ガバナーは、“青少年の健全育成”を大変力説しておられます、ガバナーの考えに全く合致するものでございます。しかも20年も継続し、積立金総額3,000万円、支給総額1,000万円超という、単一クラブとしては地区に例のないすばらしいアクトであると思います。その第二は、宮城県身体障害者スポーツ大会(現ニュースポーツゲームズ)に、1991年以来14年間資金援助(総額500万円超)を継続してきたことです。第三に、目立たない地道なアクトでございますが、仙台城(青葉城)二の丸公園周辺の早朝清掃(毎月第一日曜日)をあげたいと思います。労力アクトとして20年も続いております。

仙台五城クラブは、結成以来40年、その間7つの子クラブを誕生させたことも賞賛に値することだと思います。今、ライオンズクラブの会員減少がどのクラブでも悩みになっております。仙台五城クラブはCN40を期して新入会員を増員させて、新しい空気を入れていることも立派です。

このような経緯を持つ仙台五城クラブの将来は、益々明るい展望が啓かれるものと確信いたします。今後のライオニズム高揚を御祈念申し上げ、お祝詞とさせていただきます。



332-C 地区
6 R-1 Z
ゾーンチャーパーソン
L高松 文雄

親愛なる仙台五城ライオンズクラブの皆様、CN40周年、誠におめでとうございます。衷心よりお慶び申し上げます。

仙台ライオンズクラブ様と仙台中央ライオンズクラブ様合同のスポンサーにより、1963年11月15日に結成式、1964年10月9日に認証式を催されたと認識いたしております。

以来40年、記念すべき今日の日まで、歴代会長をはじめ、各ライオンの皆様が一丸となって奉仕活動に励まれ、地域社会に大きく貢献されました。その輝かしい功績は誠に素晴らしいものであり、仙台五城ライオンズクラブの皆様に深甚な敬意を表します。これからも友愛と相互理解の精神により、会員同志の団結を深め、尚一層の地域社会の発展と住みよい街づくりのためにご活躍されますことを心より期待しております。

意義深い今日の佳き日、貴クラブの限りないご発展と各位のご繁栄とご多幸をお祈り申し上げ、お祝辞といたします。



祝 詞



仙台中央ライオンズクラブ
会長
L菊地 禮藏

この度、仙台五城ライオンズクラブの皆様が40周年を迎えるにあたり、盛大に記念式典を開催されます事を心からお慶び申し上げます。

貴クラブは、縁あって仙台ライオンズクラブと私ども仙台中央ライオンズクラブの先輩方と共に、仙台で5番目に発足された歴史あるクラブと伺っております。

アクティビティにおかれましても、奨学金に関する多大なる事業を始め、国際協会より最優秀クラブ賞を受賞、また国際本部御訪問の折には記念植樹等の勝れた数々の奉仕を国際的・地域的に手広くなさって来られ心よりご尊敬申し上げます。

そして、名取ライオンズクラブを始めとし幾つものクラブをエクステンションされ、会員増強・組織拡大にも多大なる成果を収めて来られました。

今後も益々、会長・渡邊俊弥のスローガン「高らかな、飛躍を目指して、『We serve!』」の素晴らしいご方針に、その成功を求めて邁進なさることと存じます。

つきましては、我が332C地区の先導者としてのクラブに御発展される事をご期待申し上げるところでございます。

貴クラブの限りなき御隆盛と会員皆様のご健康を祈念申し上げお祝いの言葉とさせて頂きます。



東京新宿東ライオンズクラブ
会長
L佐瀬 良典

仙台五城ライオンズクラブ認証40周年おめでとうございます。

新宿東ライオンズクラブとは、ほぼ同時期に認証され、地区内でのクラブの位置も似ていたことから姉妹友好関係を結ばせていただいたと聞いています。その後両クラブは非常に親密な関係を保ち現在に至らせていただいております。

我クラブも昨年度40周年記念式典を無事済ませることができました。周年記念はこれまでのクラブの業績を顧みて、誇りをもって祝うと共に将来に向けてのビジョンを建てる格好の機会だと思います。貴クラブは結成以来、歴代会長の下、全員参加の地域に密着した奉仕活動を展開されてきました。特に仙台七夕まつりでのカメラのシャッター押しサービスというユニークなアクティビティは他クラブからも絶賛され、これで得た資金をチャーターナイト20周年を記念して始められた継続事業である奨学金制度に充ると言うこの活動は知恵と汗と和のクラブ運営の象徴として敬意を持って見習っていきたいと思います。

この輝かしい40周年を契機に、ますます友愛と和の絆が強められ将来に向けて更なる輝きをましていかれることを祈念してご祝辞とさせていただきます。



プログラム



* * * 記念式典（第一部）* * *

		司会進行 L 沖津 省己
1、開会宣言		第一副会長 L 阿部 正一
2、開会ゴング		会長 L 渡邊 俊弥
3、国旗敬礼、国歌斉唱		
4、ライオンズクラブの歌		
5、物故会員に黙祷		
6、来賓・出席者紹介		
7、会長挨拶	会長	L 渡邊 俊弥
8、記念事業発表	実行委員長	L 田畠 英伍
9、仙台まち美化サポート・プログラム参加認定書の授与		
10、大会記念参加賞品の紹介		
11、目録贈呈	会長	L 渡邊 俊弥
宮城県立工業高校校長		
宮城県障害者スポーツ協会・仙台市障害者スポーツ協会		
宮城県警察本部		
助成対象N P O 3団体		
せんだい・みやぎN P Oセンター		
12、奨学生代表挨拶		
13、祝辞	332-C 地区ガバナー	L 千葉 俊一
	東京新宿東ライオンズクラブ会長	L 佐瀬 良典
14、クラブ表彰 CM	L 門馬 賢造	会長 L 渡邊 俊弥
15、ライオンズローラー		名誉顧問 L 馬場 武雄
16、閉会ゴング		会長 L 渡邊 俊弥

* * * 記念祝宴（第二部）* * *

		司会進行 L 沖津 省己
1、開宴の辞		実行委員長 L 田畠 英伍
2、乾杯	332-C 副地区ガバナー	L 平田日良支
3、アトラクション	— 映像で振り返る40年 —	
	— 歌で綴る40年 —	
4、ラッキーカード抽選		
5、また会う日まで		
6、閉宴の辞	第二副会長	L 横山 万也



4. C N 40 記念式典

Document!

写真で綴る 10/24(日)



仙台ホテル正面入口に案内板が立てられた

2004年10月24日(日)、仙台は日本晴れに恵まれた。

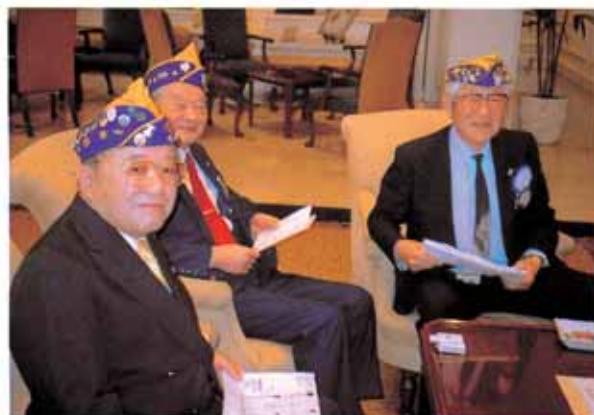
仙台五城 C N 40は早朝から約30人のライオンが記念式典の準備に余念がなかった。

日本中を震撼させた前日の新潟県中越地震の余波を忘れさせるような五城クラブの熱い団結が伝わってきた。

愈々CN40開幕だ！



五城クラブの受付も準備終了。大会開催を待つばかりである。



元ガバナーをはじめ五城の重鎮も顔を揃え大会を待つ



チャーターメンバーと執行部代表



大丈夫か、式典まえに気をもむ幹事Ｌ
『大丈夫ですよ。お金もこうやって袋に入れます』
…と丹野事務局員



〈熱烈歓迎の5人衆！〉 仙台ホテル 青葉の間の入口

準備万端！愈々250名の来客を待つばかり。
名誉顧問にも加わってもらい入口に揃う。



L佐藤勝彦名誉顧問、L斎藤清助名誉顧問、ガバナーL千葉L飯岡名誉顧問の入場



第一副会長 L 阿部正一の
開会宣言でスタート！



会長 L 渡邊俊弥はこの日のために
力強い挨拶を準備した。



元宮城 TV アナウンス部長
L 沖津省己の司会で始った



市から表彰を受ける L 渡邊会長
(仙台まち美化サポートプログラム)



宮城県警からの表彰
ボラリスヘユニホーム贈呈



N. P. O. の皆さんよろしくね！



仙台五城のメインアクト奨学生の挨拶
太田育代さん（東北大学医学部6年）



チャーターメンバー表彰
L門馬賢造



ガバナー挨拶「40にして惑わず」



L田畠英伍実行委員長
仙台五城の謂れ、ACTの説明は立派



名譽顧問団も仙台五城のCN40を『褒めてくれた』と言う？





◀今年度（前年）の優秀会長賞を千葉ガバナーから受ける前会長 L 鈴木尚太郎（ド・ネーション？）

『私、こんな立派なものを貰ってもいいんですか？…』



新宿東LCの樋口 L、「私は来年、2回目の会長をやることになっています。」と佐瀬会長代理で挨拶。来年もまた挨拶？



次期ガバナー（副地区ガバナー）の L 平田日良支（仙台グリーン）は、来年は仙台で東洋東南アジアフォーラムがある。『我等が頑張らなければならない』…と力強く語った。



やはりこのしが最後のロアである。
名誉顧問 L 馬場武雄



5. 祝宴



開宴の辞は実行委員長 L 田畠英伍より



乾盃!! 副地区ガバナーの
L 平田日良支の力強い音頭で!



B.G.M. を聞きながらの食事もよいものだ



当時を思い出して
『グリコ? カッパエビセン』など.....



東京新宿東クラブのライオン各位
『そんなに改まらなくともいいのに?』



L 三原 征士郎

姉妹クラブ、子クラブの暖かい応援



仙台東クラブ
(仙台五城クラブの皆さん
こんにちは!)



泉クラブの皆さん



東京新宿東クラブ



平田次期ガバナー
(来年は私がガバナーですよ)



五城クラブはいいね!
(私は子クラブの泉クラブです)



東京新宿東クラブはこの日のためにみんなで頑張りました!!



仙台五城LCを支えるL.Lの皆さま。
やっぱり“夫には協力したい”



ラッキーカード（L.佐尾 玄）
“韓国ペア旅行券はどなたに？”



俺の出る番あるの？
みんな頑張っているネエ…
『ラッキーカード当ったよ？』



『まあまあだねエ、ほんとは
俺たちもおかげで頑張ったんだよ…』



俺も出たかったよ！
誰一人として帰らない大会の終宴で
また会う日までを…手をつないで…



第二副会長し横山万也の
閉宴の辞は『一番立派だった』と
いう人もいる？

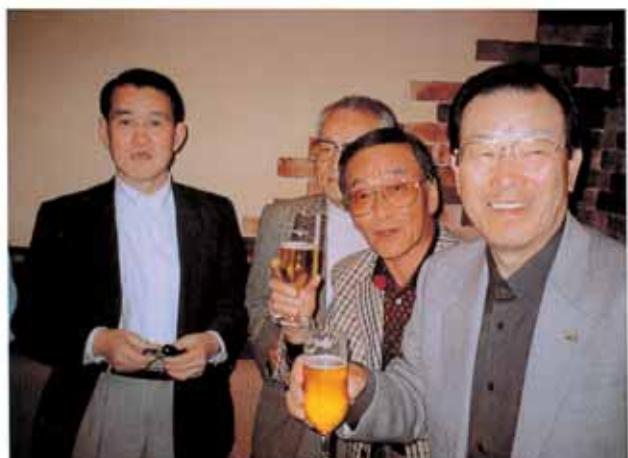


6. ゴルフ & 前夜祭

10月23日(土)友好親善ゴルフ大会が
ニューワールドで行われた。表彰式前夜祭は
『バジリコ・パセリっこ』で6:00pmから盛大に行われた。



乾盃の音頭をとる実行委員長 L 田畠英伍と、
宴会となればこの L 浅見紀夫である。



これから乾盃？ですか？
…『もう疾っくにやっていたんですよ』



料理はウマクないけど、歌のウマイ人が多いネ！
井関 L ! 酒井 L !
『仙台には、ノンデレラで
歌舞のために来てるんです。』



この若手の 2 人の力なくして
この前夜祭は語れない。
L 横山万也、L 小柳達哉

姉妹友好の絆は強く31年



CN式典直前
新宿東クラブの控室で



好天に恵まれたゴルフ大会
スコア?それは、まあいいでしょう。
親善だもん。



箱根『樓庵での合同例会』 1993.10 (於箱根)
これはいつだったか楽しかった。



7. C N 40記念事業 (Activity)

C N 40を記念して仙台五城クラブは、記念事業として総額560万円を計上した。その内訳は継続事業では、20年間続いている奨学金制度で、現在より1名を増員し、5年間で360万円、障害者スポーツ大会への支援金を5年間、毎年30万円で合計150万円の拠出である。新規事業では、宮城県警「大学生健全ボランティア・Polaris（ポラリス）宮城」へパトロールの時に着用するユニフォームを55着贈呈（総額50万円）である。

さらに単年度に限ってのことであるがN P Oへの資金援助を行うこととし、大会式典で50万円の目録を贈呈した。

その 1 奨学金制度（奨学資金）

延べ25名（発足以来）支給総額 10,910,000円

積立金残高（H16.10月末現在） 20,236,073円

積立金合計 31,146,093円！

仙台五城L.C. C N 20年を記念に設立された奨学資金制度は発足以来20年間、一度も絶えることなく継続してきた。積立金総額も3,000万円を越えた。この間多くの奨学生（延べ25名）に給付してきたが、C N 40年を記念して来年度よりもう1名の奨学生を増員する（実績単年度4名支給）ことが決った。更に次年度5名、翌次年度6名とし実質6名で運営することになる。仙台五城の奨学制度も益々充実して来たと思われる。

◇C N 40を機に、元奨学生に現況報告を依頼したところ、10名から感謝のメッセージが送られてきたので、掲載する。

仙台五城奨学生名簿

(H16.9月末現在)

	在学年度	奨学生氏名	出身校
1	1986～1989 (S 61～H 1)	渡辺 良太郎	五城中 →仙台電波工業高等専門学校
2	1987～1990 (S 62～H 12)	伊谷 和子	中山中→ウルスラ学院高校 →尚絅短大→松下電器産業㈱
3	1988～1991 (S 63～H 3)	本郷 恵美	山田中→宮城二女高
4	1989～1992 (H 1～4)	伊藤 恵美	蒲町中→聖和学園 →日本児童教育専門学校(幼児保育専攻科)
5	1990～1993 (H 2～5)	工藤 誉子	中野中→仙台南高校
6	1991～1994 (H 3～6)	中塚 直美	袋原中→宮城二女高
7	1992～1995 (H 4～7)	渡辺 忍	南光台中→泉松陵高校 →麻生東北短大(一関) 幼児教育学科
8	1993～1998 (H 5～8)	芳賀 秀人	加茂中→仙台二高
9	1993～1996 (H 5～8)	高橋 恵	沖野中→仙台南高校
※10	1994～1997 (H 6～9)	西 功	鶴が丘中→仙台育英高校
※11	1994～1997 (H 6～9)	山口 力也	幸町中→電子高校(東北工大高)
12	1995～1998 (H 7～10)	太田 育代	西山中→宮城一女高 →(一浪) 東北大学(医)
13	1995～1998 (H 7～10)	安部井 淳	寺岡中→東北高校
14	1996～1999 (H 8～11)	佐々木 清志	広瀬中→泉高校
15	1996～1999 (H 8～11)	那須 真也	長命ヶ丘中→東北工業大学高校
16	1997～2000 (H 9～12)	勅使河原 左依	秋保中→広瀬高校(推薦)
17	1997～2000 (H 9～12)	亀田 美紀子	将監中→泉高校(推薦)
18	1998～2001 (H 10～13)	鈴木 啓明	加茂中→仙台二高→筑波大学(推薦)
19	1999～2004 (H 11～16)	白井 寛徳	岩沼北中→仙台一高 (2002年度より同校通信制)
20	2000～2003 (H 12～15)	鈴木 希	愛宕中→県工業高校 →東北職業能力大学校(住居環境科)
21	2001～2004 (H 13～16)	武田 賢治	台原中→仙台二高→東北大法学部
22	2002～2005 (H 14～17)	佐藤 祥子	鶴ヶ谷中→宮城一女高
24	2003～2006 (H 15～18)	福島 梢	富沢中→宮城二女高
25	2004～2007 (H 16～19)	齊藤 明伯	宮城県工業高校

奨学生から感謝の声！



式典で挨拶をする。



太田育代（奨学生）
現在、東北大医学部6年生

平成10年3月 宮一女高卒業
太田 育代

仙台五城ライオンズクラブの皆様、結成40周年、誠におめでとうございます。

私は宮城県第一女子高等学校時代の3年間、貴クラブの奨学生としてご支援を頂いておりました。現在は東北大学医学部に在籍し、最終学年として就職活動と国家試験勉強に追われる毎日を送っております。

今思えば、高校3年間というのは本当にあっという間のものでしたが、大学を卒業し社会人になろうとしている今、あの頃のクラスメートたちと受験勉強そっちのけで打込んだ体育祭や文化祭、少ない部員で盛り上げていった部活動など、高校時代にしかできなかつた青春の思い出が懐かしく思い出されます。それと同時に、奨学生として、このような貴重な3年間を過ごさせて頂いたことへの感謝の気持ちでいっぱいになります。あの頃の私が、今こうして医師として働くことを考えると、未だに信じられないような不思議な気持ちがします。

奨学生だった3年の間に、私が会員の皆様と顔を合わせる機会は限られておりましたが、初めてライオンズクラブの定例会に出席させて頂いた時、想像以上の立派な会場に緊張していた私に、会員の皆様が優しく話しかけて下さった事、今でも強く記憶に残っております。また大学受験で大変お世話になりました本間先生との御縁もこのライオンズクラブからでした。

これまでにたくさんの方々から頂いてきた御恩を、立派な社会人となって多くの人々に返すことが、元奨学生としての本当のご恩返しであると思っております。そして、これから、たくさんの後輩奨学生たちが私たちの後に続いてくれることを期待しております。

貴クラブのますますのご発展をお祈りいたします。

平成16年3月 仙台二高卒業

東北大(法)1年

武田 賢治

仙台五城ライオンズクラブ様、40周年、本当におめでとうございます。

私は昨年までの仙台二高在学中、仙台五城ライオンズクラブ奨学生としてお世話になっておりました。現在は東北大学法学部の1年生です。早いもので大学生となって半年が過ぎ、ようやく大学生活にも慣れてまいりました。充実した大学生活を送っております。

こうした生活を今送ることができているのも、高校時代の仙台五城ライオンズクラブ様の温かいご支援のお陰と、心より感謝致しております。私の家族は小学生時代に両親が離婚し、母一人子一人の生活を送ってまいりました。そのような中で、ご援助がなければ勉学や部活動に熱中する高校生活は送ることができなかつたかも知れないと、今改めて感じております。

さて、そのように多くの励ましをいただいて合格できた現在の大学ですが、“自由”であることは必ず“責任”が伴うということを実感しています。特に勉学の面では、授業の選択まで自分で決定できる反面、最終的な責任は全て自分が負わなければなりません。これは高校では考えられなかったことで、まさに大人の世界に入るための訓練だと考えております。法律の勉強は非常に難しいですが、また同時にとても興味深く、やはり法学部に進学して良かったと思っております。また、現在は総合大学ならではの多分野に渡る教養の勉強も、法律の勉強に負けず劣らずの楽しさで、前期は1日も休まず大学に通いました。勉学以外の面では、中学校から続けていた吹奏楽部に入部し、活動しております。さすがに高校時代ほど活発にはできませんが、これからも自分の人生をより豊にするためにも続けていきたいと思います。

お陰様で私は、大学でも古屋亭記念奨学会の奨学金を受けさせていただけたこととなりました。これは対象が法学部限定のもので、先日贈呈式が東京で開かれました。多くのお支えにより勉強できる幸せに感謝の念で一杯です。

今後、私は法科大学院への進学を目標に頑張ってまいりたいと思います。近年、この法科大学院をはじめとして、大幅な司法制度改革が進められています。どうしても法律家というと六法全書に書かれている難しい法律を機械的に操作して使いこなすというイメージがありますが、そもそも法律とは人間のためにあるものだという基本を忘れず、人間性のある法律家を目指していきます。

私は仙台五城ライオンズクラブ様のご援助がなければ今日の自分を成し得たかどうか不安になります。そして、きっと今も私と同じような状況に置かれている高校生がいることでしょう。そのような高校生のために、是非ともこの奨学金活動を継続いただき、さらなるご発展をお祈り申し上げます。そして私自身も皆様のお心を無駄にせず、いつか社会の中でご恩返しできる日を目指し、励んでまいります。